

村上市水道事業経営戦略の事後検証

1 人口推計

(単位:人)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
給水人口	推計値	49,819	49,211	48,604	47,997	47,390	46,772	46,155	45,537	44,919	44,301
	実績	49,940	49,248	48,921	48,393	47,750	47,111	46,418			
比較		121	37	317	396	360	339	263			

2 水需要

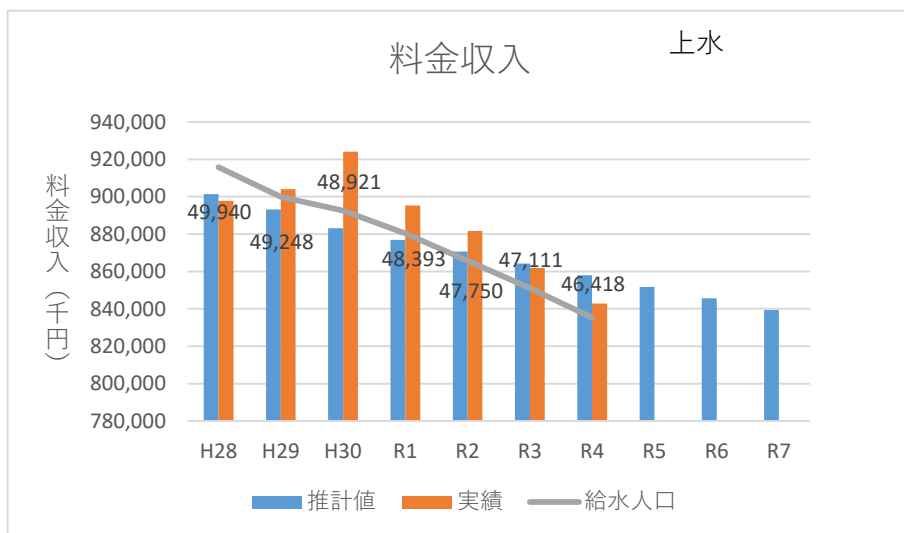
(単位:千m³)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
有収水量	推計値	6,255	6,182	6,110	6,037	5,965	5,891	5,817	5,744	5,670	5,596
	実績	6,240	6,226	6,319	6,048	6,024	6,107	5,758			
比較		-15	44	209	11	59	216	-59			

3 料金収入

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
水道料金	推計値	901,380	893,150	883,170	876,843	870,568	864,237	857,959	851,734	845,561	839,440
	実績	897,796	904,091	924,032	895,326	881,638	861,845	842,851			
比較		-3,584	10,941	40,862	18,483	11,070	-2,392	-15,108			



○人口及び水需要

人口減少の影響により給水人口は年々減少している。
水需要は、R元年度からの新型コロナウイルス、R4年度の災害により大きく減少している。

○水道料金

H30年度に基本料金を統一し、R4年6月から従量料金についても、全地区で統一料金となった。(1m³当たり140円)
R2年度から新型コロナウイルス対策としての料金改定延期、R4年度に大雨による災害減免を実施しているため、R2～R4年度推計値に対し△6,430千円となっているが、その補てんとして一般会計から82,041千円(新型コロナ分63,400千円、大雨災害分18,641千円)繰入れした。

【資料1-1】

4 営業費用

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
経費	推計値	908,739	910,144	892,557	884,448	876,415	856,377	843,274	827,803	810,458	776,285
	実績	864,355	868,524	931,559	916,216	897,636	929,685	997,396			
比較		-44,384	-41,620	39,002	31,768	21,221	73,308	154,122			

5 営業外費用

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
支払利息	推計値	110,668	100,322	92,896	86,441	79,771	72,903	66,006	59,221	52,843	46,857
	実績	105,065	100,018	97,341	92,144	85,527	78,697	72,575			
比較		-5,603	-304	4,445	5,703	5,756	5,794	6,569			

6 建設改良費

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
投資事業	推計値	516,081	457,110	850,000	400,000	150,000	150,000	150,000	150,000	100,000	100,000
	実績	519,782	268,498	679,261	257,885	315,404	350,264	638,631			
比較		3,701	-188,612	-170,739	-142,115	165,404	200,264	488,631			

○費用

営業費用については、H30から増加傾向にあるが、資産取得による減価償却費が増加したことや、施設維持修繕費、動力費が増大したことが要因である。当初10年後の推計値を△14%としているが、施設の原価費用と投資額・減価償却費から捉えた推移が必要である。

営業外費用については、支払利息の減少に伴い減少傾向にあるが、R2からの企業債の借入額が増加したことに伴い、推計値に比べて実績が上回っている。

建設改良費については、予定していた配水管等改良工事のほか、予定のない高速道路建設工事や県道改良工事に伴う補償工事の増減が起因している。また、水道法の改正により、H30～R4まで管路台帳・施設台帳の構築業務がR4に完了したことから増額となっている。

7 企業債発行額

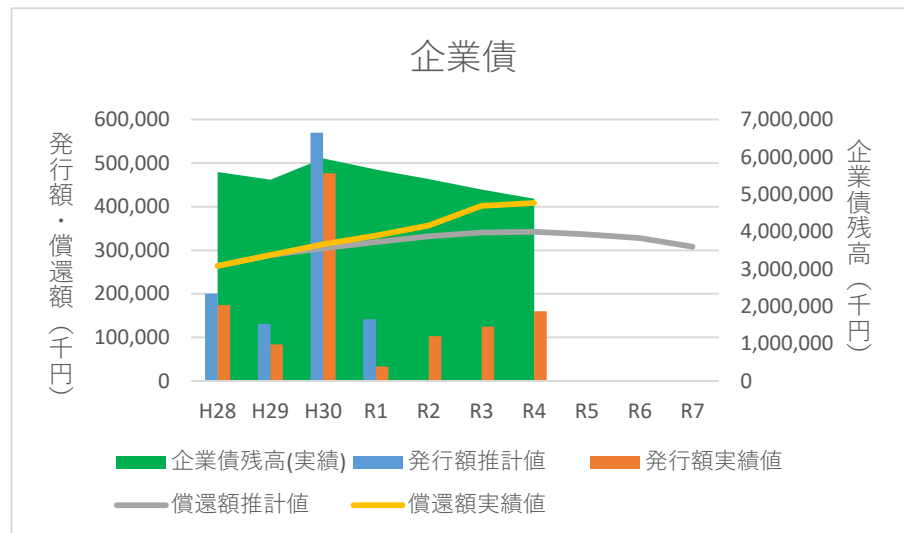
(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企業債	推計値	200,000	131,000	570,000	142,000						
	実績	173,800	84,200	477,000	33,000	102,900	124,800	160,197			
比較		-26,200	-46,800	-93,000	-109,000	102,900	124,800	160,197			

8 企業債償還金

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
償還元金	推計値	264,065	288,955	304,411	318,519	332,245	340,234	342,347	336,462	328,040	308,114
	実績	264,063	288,955	313,471	333,557	357,138	401,921	408,399			
比較		-2	0	9,060	15,038	24,893	61,687	66,052			
企業債残高		5,590,528	5,385,773	5,959,025	5,658,468	5,404,230	5,127,109	4,878,907			
給水人口1人当たりの残高		112	109	122	117	113	109	105			



○企業債

企業債発行額については、計画ではR2からは予定していなかったが、建設投資額が増加したため、財源不足額について、借入を実施したことにより増加傾向にある。

H28～R4までの企業債発行額は、1,155,897千円、償還元金は2,367,504千円となり、R4末の企業債残高は、予定より246,083千円増の4,878,907千円である。
(簡易水道の一部統合により、約383,000千円承継している。)

【資料1-1】

9 一般会計繰入金(他会計補助金)

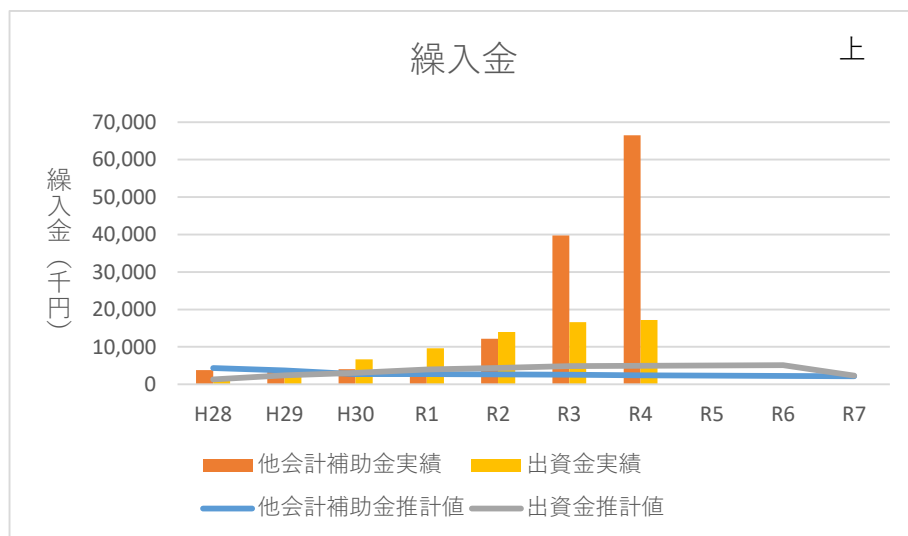
(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
収益的収支	推計値	4,337	3,673	2,759	2,689	2,607	2,519	2,426	2,330	2,232	2,148
	実績	3,758	3,433	4,048	3,602	12,156	39,745	66,475			
比較		-579	-240	1,289	913	9,549	37,226	64,049			

10 一般会計繰入金(出資金)

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
資本的収支	推計値	1,308	2,389	3,048	3,995	4,358	4,824	4,917	5,012	5,111	2,322
	実績	1,308	2,389	6,644	9,645	13,996	16,586	17,135			
比較		0	0	3,596	5,650	9,638	11,762	12,218			



○繰入金

上水道事業の繰入金については、基準内繰入のみ一般会計から受入している。R2からR4までは、新型コロナウイルス感染症の影響から料金改定を見送ったため、料金回収不足分について、基準外繰入金として受入している。(R2～R4 63,400千円)

また、R4.8.3からの大雨災害により、水道料金の減免を実施したため、R4については、災害減免として繰入している。(R4 18,641千円)